

10月29日(日) 第二礼拝「義の太陽」 マラキ4章2節

義の太陽が上ると、癒しがあり、解放、賛美、感謝が溢れていくことが約束されています。

第一番目、私達は主の栄光を現す器です。Ⅱコリント 4:7「土の器に宝を入れてくださる」宝とはイエスキリスト(義の太陽、主の栄光)であり、私達(土の器)を通して主の栄光を現してください。そして、イザヤ 60:19,61:3 義の太陽である主が私達の光栄となり、私達は栄光を現す主の植木と呼ばれるようになるのです。また、Ⅰコリント 2:9 では、目で見ることのないもの、耳が聞いたことのないもの、人の心に思い浮かんだことのないものを、神様を愛する者のために、神様は備えてくださっていると約束してくださっています。エゼキエル 43:2 その神様の栄光は東のほう(原語:東の果て)から現われ、全地が主の栄光で輝くとありますが、終わりの時代、この日本が主の栄光を現す器となることを宣言します。

第二番目、私達は新しい契約に仕える者、御霊に仕える者です。Ⅱコリント 3章それは御霊の務め(生かす働き)であり、義とする務め、更なる栄光をもたらす働きとも書かれています。イエスキリストの十字架によって、神と和解し、罪を贖われ、義と認められた人は、神の子とされます。そして、神との和解を受け入れた人々は、栄光から栄光へと、主と同じかたちに姿を変えられていくのです。Ⅱコリント 5:18-19「神は、キリストによって、私達をご自分と和解させ、また和解の務めを私達に与えてくださいました。…和解のことばを私達にゆだねられました。」とあるように、救われた私達は和解の務め、和解のことば(福音)を預かっています。ですから、イザヤ 62:1「シオンのために、わたしは黙っていない。…」私達はこの素晴らしい福音を大胆に語るのです。その時、聖霊様が働かれ、主の栄光が太陽のように輝き、終わりの時代、想像をはるかに越えた大いなることを、主は成し遂げてくださいます。黙示録 7:2,9 には大患難時代を抜け出して来た、数え切れぬほど(2億人以上)の大勢の群衆の救いについて書かれています。日本の救いも、必ず主が成し遂げてくださいます。

第三番目、約束の成就です。Ⅱペテロ 1:19 私達は更に確かな預言のみことばを持っているとは、イザヤ 60章,62章にある私達を通して主の栄光を現わすという約束です。また、ヨエル 2:28-29 主は全ての人に主の霊を注ぐとあるように、今まさに主は多くの人々に預言や夢、幻を通して語ってくださっています。長い間祈り続け、涙をもって種を蒔き、福音を宣べ伝えてきたことが、今実を結ぼうとしているのです。私達は喜びや賛美、感謝が溢れる日が来ることを信じ期待します。主の栄光が全地を満たすという救いの約束を、イエス様が十字架で既に成就したと信仰によって受け取る時、主の栄光が現されるのです。これが新しい契約です。イザヤ 11:6-10 主の栄光が現される時、互いに愛し合い、赦し合い、主の御手の中で一致していきます。使徒の働き 15:16-18 倒れたダビデの幕屋が建て直される時、残った人々、主の名で呼ばれる異邦人が皆主を求めるようになるのとあるように、聖霊の宮が栄光から栄光へと建て直され、人々に主を慕い求める心が与えられます。これが終わりの時代の特別な油注ぎとして、私達に任されている義の務め、和解の務めなのです。アーメン！